

愛ちゃん と 希望くん



やわたはま

# 社協だより

# 68

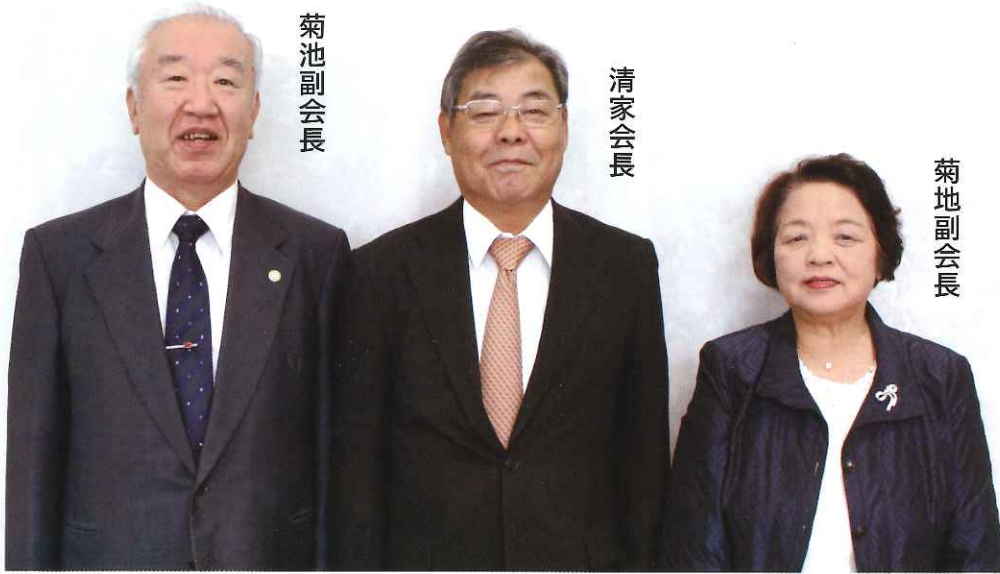
平成29年7月1日

《発行》社会福祉法人 八幡浜市社会福祉協議会 八幡浜市松柏乙 1101 番地

八幡浜市保健福祉総合センター2階 TEL 23-2940 FAX 23-0506

ホームページは [八幡浜市社協](#) まで

## 八幡浜市社会福祉協議会の新役員が 選任されました



菊池副会長

清家会長

菊地副会長

### 会長就任挨拶

このたび6月14日付で、八幡浜市社会福祉協議会会長に就任しました清家俊蔵でございます。

歴代の会長が築き上げてきた伝統ある八幡浜市社会福祉協議会会長に仰せつかり、その職責の重大さに、身の引き締まる思いであります。

職務の遂行にあたりましては、市民の皆様からのお力添えを賜りながら、全力を尽くしてまいります。

さて、少子高齢化が一層進展する中、介護保険制度の改正や、子供・子育て支援制度の構築など、様々な改革が行われ、持続可能な社会保障制度への移行が進められています。

このような中、地域においては、人口減少や核家族化等に伴い地域の連帯感の希薄化が進行しており、従来家族が担ってきた役割に変化が生じてきております。

今、まさに、私たち一人ひとりが自分の住む地域に関心を持ち、地域の生活課題を我が事と捉え、「人や資源が世代や分野を超えて丸ごとつながることで、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるまちづくりをめざして」役職員一丸となって、地域福祉の推進に努めて参ります。

皆様のより一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます、会長就任の挨拶とさせていただきます。

役職	氏名
会長	清家俊蔵
副会長	菊地千鶴
副会長	菊池省三
常務理事	大森幸二
理事	矢野宗昭
井上悦子	井上悦子
菊池美恵子	菊池美恵子
木村謙児	木村謙児
二宮真人	二宮真人
毛利博文	毛利博文
矢野律子	矢野律子
舛田昭彦	舛田昭彦
今村徳之	今村徳之
菊池泰樹	菊池泰樹
徳島守	徳島守
戎重和	戎重和



# 第30回福祉のつどい開催！ 出会いと笑顔を大切に、これまでの歩みを振り返る

平成29年5月21日(日) 10時〜15時 新町ドーム及びその周辺にて、「第30回福祉のつどい」を開催しました(主催：八幡浜市社会福祉協議会・八幡浜市ボランティア協議会)。

当日は汗もにじむほどの快晴のもと、約2000の人でにぎわいました。今回のテーマは「出会い ふれあい 笑顔と感謝」。ステージ上では絶え間なく様々なプログラムを実施、新町ドーム内では福祉体験ブースを展開。商店街アーケードでは展示即売や飲食物の販売を行う等、参画した人・団体が趣向を凝らした活動を行いました。

福祉のつどい名物となっているもちまきでは、協賛である新町商店街振興組合のご協力により商店街内で使える商品券をもちと一緒に撒き、大いに盛り上がりました。

## JOYPOPによる 華麗なダンス

30回を記念して、愛媛県内を中心に様々なイベント・施設でダンスを披露しているダンスグループ「JOYPOP」(ジョイポップ)を招きました。構成メンバーは、主にダウン症のある人達



いきいきと輝く表情で踊るメンバー

(子ども)です。グループ名の印字されたお揃いのTシャツに身を包み、ステイジいっぱいには広がりながら、軽快な音楽に合わせてダンスを披露しました。メンバーの皆さんはこの日、朝早くから別所にて練習・リハーサルを行い、準備をしていただきました。息の合ったダンスを見た来場者からは、自然と手拍子が起こり、歓声が上がりました。

## 30回記念アート作製・披露

記念に何か残るものを、と思案し、

浜っ子共同作業所利用者全員が関わり、アートを制作しました。今回のテーマや八幡浜市を象徴するものを盛り込みながら、縦90cm×横180cmの大きな作品となりました。製作期間は約1か月。みかんの実る山やフェリーの行き交う海、カラフルな魚たち、八幡浜市PRキャラクターはまぼん等、随所に八幡浜市の温かさを感じる作品となりました。

この作品は、現在新町ドーム内掲示板に設置しています。ぜひ、実物をご覧ください。



目を引くアートと作成した仲間たち

## プログラムファイナーレは 約100名と来場者で合唱

最後には、4団体によるコーラス・合唱が行われました。童謡の会「うらら」によるハンドベル演奏、松蔭ひろばによる『いつでも夢を』歌唱、心身障害者(児)団体連合による『みかんの花咲く丘』歌唱の後、ゆりかごの里を含めて総勢約100名で合唱をしました。曲は、『花は咲く』と『ふるさと』。来場者の歌声も合わさり、会場内が音楽でひとつになりました。



新町ドームに歌声がこだましました

節目を迎えた第30回福祉のつどい。この場で生まれた出会いが、日頃のつながりや支え合いにつながっていくことを願い、これからも八幡浜市の福祉・ボランティアを発信していきます。



# 視覚障がい者と共に歩む ボランティアについて学びませんか？

## 朗読(音声訳)ボランティア養成講座



<b>日 時</b>	平成 29 年 8 月 1 日(火) ～ 10 月 24 日(火) 13 時 30 分 ～ 15 時 30 分(全 10 回)
<b>場 所</b>	八幡浜市保健福祉総合センター 2 階 シルバーボランティアルーム 他
<b>内 容</b>	視覚障がい者へ情報を提供するために、 広報・新聞等を録音する音声訳のボラン ティアを養成し、視覚障がい者の福祉の 推進と社会参加を促進します。 第 1 回 開講式 音声訳とは 第 2 回 声を出すために(発声と発音) 鼻濁音 第 3 回 母音の無声化 自然な読み方
<b>参加対象</b>	市内に在住・在勤の方で、ボランティア に興味のある方
<b>定 員</b>	20 名程度
<b>受講料等</b>	無料
<b>講 師</b>	日本盲人社会福祉施設協議会 音声指導員 岩田 和子 氏

## 点訳ボランティア養成講座



<b>日 時</b>	平成 29 年 8 月 4 日(金) ～ 10 月 13 日(金) 19 時 ～ 21 時(全 10 回)
<b>場 所</b>	八幡浜市保健福祉総合センター 2 階 シルバーボランティアルーム
<b>内 容</b>	視覚障がい者へ情報を提供するために、 点訳の指導を行い、点訳ボランティア を養成。視覚障がい者の福祉を推進し ます。 第 1 回 開講式 点字・点訳の基礎知識 第 2 回 語の書き表し方 (かなづかい) 第 3 回 語の書き表し方(数字) …
<b>参加対象</b>	市内に在住・在勤の方で、ボランティ アに興味のある方
<b>定 員</b>	20 名程度
<b>受講料等</b>	無料
<b>講 師</b>	点訳サークル「竹の子会」 山越 義晴 氏

お申し込み  
お問合せ先

開催要綱や詳しい日程の書類をご希望の方も、お気軽にお問合せ下さい。

**八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課**

TEL 0894-23-2940 FAX 0894-23-0506



## 株式会社あわしま堂×八幡浜市社会福祉協議会 食糧支援はじめました ホッとする和菓子・洋菓子

平成29年4月1日株式会社あわしま堂（以下、あわしま堂）と八幡浜市社会福祉協議会（以下、社協）との間で、「生活困窮者等への食糧支援に関する協定書」を取り交わしました。あわしま堂が、定期的に一定数の和菓子・洋菓子を、無償で社協に提供し、社協から生活に困難を抱えている人へ無償で提供する仕組みです。（和菓子・洋菓子の食糧支援は愛媛県内初）

社協では、八幡浜市より自立相談支援事業を受託し、年間約50件の新規の相談を受けています。支援内容は、生活の立て直しに向けての相談・同行、医療・制度の利用支援、ボランティア活動を通じた意欲の向上、就労支援等を行っています。面談当初、現金がない、食べ物が無い、落ち着かない、イライラしている当事者の方は少なくありません。そのような課題をあわしま堂と社協とが協議し、今回の取り組みが実現しました。

提供された和菓子・洋菓子は、当事者の体調を配慮して、当事者と相談員の面談の際に活用しています。和菓子・洋菓子の効果で、当事者の緊張がほぐれ、面接の雰囲気は柔らかくなります。

そして、当事者の方は、笑顔で和菓子・洋菓子を食べ、「ホッとしたり」「落ち着いて物事が考えられる」と語られます。食糧支援に関する事、生活に困難を抱えている人は社協地域福祉課へ23-2940までご連絡をお願いします。



あわしま堂本社工場（保内町川之石）

## 八幡浜市ボランティア協議会 総会開催 2つの加入団体が活動の報告を行いました

平成29年5月26日（金）19時～21時、道の駅みなと内みなと交流館多目的ホールにて、八幡浜市ボランティア協議会（以下、ボラ協）の総会が開催されました。

ボラ協には、現在29の団体が加入しています。この日、15団体より21名が参加し、平成28年度の事業報告・収支決算及び平成29年度の事業計画・収支予算について協議しました。

その後、2つの団体により、活動報告を行いました。

### 活動報告1 ふれあいルーム「ラ・クール」

「少し、楽になってみませんか」というスローガンで、箱庭療法やトリミング等を用いたカウンセリングや、保育、カウンセリングに関する研修会を開催。今最も力を入れている「ぽこぽこ」のつどいでは、心が疲れた時お互いに支え合うつどいの場として、親のつどい・親子のつどいの開催や、自然とふれる活動「自然の中で遊ぼうの会」の実施等、様々な活動に取り組んでいます。

### 活動報告2 スマイル

八幡浜市近郊で、発達に不安をもつ子どもたちとその親、及び活動賛同者と共に、子ども達の仲間づくり、居場所づくり、そして将来の暮らし（グループホーム設立）を考え、活動しています。

月に一度の定例会や、資金作りのためのたこ焼き販売、その他親睦を深めるためにキャンプ・クリスマス会等を開催。また、年4回サロンを企画し、関係機関や支援者等との交流や勉強会を行っています。



ボラ協仲間に向けて報告をする  
「ラ・クール」代表 清水氏



# 新しい形の「サロン」が2ヶ所誕生しました！



甘茶会終了後に集合写真撮影



体操に励んで、介護予防

**初!** 構成メンバーが  
全員男性!

松柏・千丈地区に初の男性サロンができました！  
メンバーは全員男性。誕生のきっかけは、千丈地区での開催されていた男性料理教室でした。  
開催2回目には、はつらつ介護予防体操すすめ隊の方に体操の指導をしていただいた後、甘茶会の準備やお接待で、さわやか萬寿会（地元老人クラブ）のお手伝いをしました。

サロン名 **出陣(千丈)**

メンバー18名/月1回開催



昼食前には皆で口腔体操



じゃんけんペタンコで大笑い

**初!** 5地区合同で  
開催!

日土東地区には、初の5地区（久保田・瀬田・尾之花・樫ノ木・野地）合同のサロンが誕生！各地区にお住まいのメンバーが会場である日土東地区公民館に一堂に会し、顔を合わせ、会話を楽しまします。  
介護予防推進型サロンとして、口腔ケアや軽スポーツ、脳トレーニング等に楽しく、積極的に取り組んでいます。

サロン名 **やまびこ(日土)**

メンバー36名/月1回開催



愛媛高次脳機能障がい者を支援する会インタビュー

# 「障がい当事者に気付いて・知って・聴いてほしい」



副代表 石田幸政さん

愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」(以下、「あい」)副代表 石田幸政さんにインタビューをしました。

## 高次脳機能障がいについて教えてください

高次脳機能障がいとは、事故により頭を強く打ったり、脳の病気により、脳の一部に損傷を受けた場合に起こる障がいといえます。症状は様々で、一人ひとり異なるため、なかなか理解が進まず、対応が難しいのが現状です。見た目には、障がいがないように見える場合も多く、周りの人が障がいのことを知らずに、当事者へ過度の期待をかけた時、接し方を間違ったりして問題が大きくなることもあります。

当事者は「困っている」という気づきが薄く、家族や周囲の人の適切な対応が望まれます。適切な対応は、医療機関への受診や福祉関係の相談窓口への案内です。

高次脳機能障がいは、麻痺など身体的症状がみられない場合も多いので、本人に病識がなく受診を拒否したり、一般的な診療だけでは見逃されてしまう当事者も中にはいて、その後の生活を送ることが困難なケースがあります。精神障害者保健福祉手帳を取得すれば、障害者総合支援法による福祉サービスや介護保険サービスの利用が可能です。また、障害年金を受給できる可能性もあります。

### 主な原因

- 脳血管疾患**  
(脳梗塞、脳出血、クモ膜下出血など)
- 脳が傷つけられたり、圧迫されたりすること**  
(交通事故、転落事故、スポーツ、暴力など)
- 脳が炎症を起こしたり、酸素不足になること**  
(ウイルス性脳炎、低酸素脳症、水におぼれるなど)
- 中毒**  
(アルコール中毒、薬物中毒、一酸化炭素中毒など)
- 脳腫瘍**
- その他の身体疾患**  
(多発性硬化症、膠原病、内分泌疾患など)

図表は愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」リーフレットより転載

- 新しいことが覚えられない。
- 発症・受傷前のことが思い出せない。
- 生活の中の出来事を忘れる。
- 約束を忘れてしまう。
- 何度も同じ質問を繰り返してしまう。



### 記憶障がい

- ボーッとミスする。
- 話についていけない。
- 同時に2つ以上のことができない。
- 何か1つのことにこだわり、他に注意をはらえない。



### 注意障がい

## 主な症状

### 遂行機能障がい

- 優先順位が付けられない。
- 自分で計画を立てて物事を実行することができない。
- 人に指示してもらわないとなにもできない。
- 仕事を途中で投げ出してしまう。



### 社会的行動障がい

- 対人関係をうまく作れない。
- 感情のコントロール・欲求のコントロールができない。
- 人に頼ることが多くなる。
- 子供っぽくなる。
- 突然おこり出し、暴力をふるう。





「あい」の取り組みについて  
教えてください

平成17年11月20日、重篤な長男を抱え苦勞されていた秋山勇次氏が発起人となり、元愛媛大学医学部付属病院池田学助教授の支援を得て設立しました。高次脳機能障害となった当事者・家族が、障がいの計り知れない不安や悩みを体験し、その苦しみや困難を乗り越えるため、支え合い、苦難を乗り越えて社会で明るく暮らしていけるよう、各保健所や医療機関と連携しながら取り組んでいます。当事者・家族・支援者で構成されています。

平成29年12月17日(日)八幡浜市保健福祉総合センターにて定例会を開催します。当事者、当事者の可能性のある方、家族、関心のある方で参加を希望される場合、下記の事務局まで、事前に申し込みをよろしくお願ひします。(参加費無料)参加する方々には、個人情報のご遵守をお願いします。

活動内容

1. 「あい」定例会(ピアサポート)

同じ悩みを持つ当事者・家族が不安や悩みを共有し、支え合い、ストレスを解消し、困難を乗り越え、一息つく活動です。

毎月、第3日曜日に、県内各地で開催しています。(変更もあります)

2. リビング「あい」(当事者自立活動)

当事者・家族による調理や模範カフェ等の生活体験により社会性を身に付ける活動です。

毎月、第2日曜日に、リビング「あい」の会場で開催しています。(変更もあります)

3. 「あい」通信の発行

定例会やリビング「あい」の活動内容や予定、講習会、研修会等のご案内をしています。

4. 法律相談のサポート

実地、体験に基づく後悔しない交通事故等の適正な解決の仕方や注意点など「あい」相談専門員がサポートをしています。

5. 高次脳機能障がいの支援、普及活動

一般の市民・県民に届くように。

6. 障害者総合支援法の利用サポート

複雑な社会制度や社会資源の有効活用をめざし活動しています。

石田さんからメッセージを

過去に受傷し、十分に医療が受けられていない当事者が地域では沢山いらっしゃいます。その方たちは「仕方がない」とあきらめて、日々を過ごしているのだと思います。日々、医療は進歩

し、相談支援体制も充実してきました。ぜひ、当事者・家族が「あい」に相談していただけるよう願っています。一方で、皆さんがお住いの地域では高次脳機能障がいの認知度が高くなく、協力・支援依頼ができません、静かに暮らしている当事者の方がおられます。地域住民の皆様が高次脳機能障がいの存在に気づき、知っていただき、よき隣人として、当事者や家族の声に耳を傾けていただきたいと思います。皆様が、当事者や家族の悩みや困った声を受け止めた時はぜひ、「あい」をご紹介しますいただきますよう、お願いします。

愛媛高次脳機能障がい者を  
支援する会「あい」

事務局	〒799-2465 松山市和田甲295-9
電話	090-6284-5482
副代表	石田 幸政
電話&FAX	0894-24-6527 090-4976-6726
会員年会費	5,000円
賛助会員年会費	個人 一口2,000円 団体 一口5,000円

これを機会に皆さんに考えて頂きたい事があります。

「正常」とは、「異常」とは、どういうことだと思えますか。

実は「正常」と異常の境界は極めて曖昧なものなのです。

容姿も能力も多様な人が、生まれて生きていく時、そこに生き辛さを感じた時、「それが異常」と考えれば一つの目安になるのではないのでしょうか。

「高次脳機能障がい」だけではなく、「発達障がい」「認知症」なども同様で、多様な障がいの様相を見聞きした時、戸惑ったり、敬遠したり、係わりを避ける傾向があるのではないのでしょうか。

人の心の中には、老若男女・貧富の差に関係なく「優越感」「劣等感」があります。

「障がい」を持たれた方は、失敗体験を多く持つ故に「劣等感」を抱いてしまわれます。これが生き辛さにつながっているのだと考えられます。自分が、または自分の大切な人が、いつ・どのような形で障がいを持つかわかりません。見方を変えれば年を重ね、老いる事が障がいを抱える事と同じ意味を持つのではないのでしょうか。

医師の診断は、他者との係わりの中で理解を促すサポートの様な役割を果たす故に必要なだと考えています。障がいを持つことは、不自由であったり不便であったりしますが、決して「不幸」なことではないのです。



# 社協会費のご協力をお願いします

## \* 社会福祉協議会とは \*

八幡浜市社会福祉協議会(以下、社協)は、昭和26年に発足し、昭和37年には社会福祉法人(民間団体)となりました。

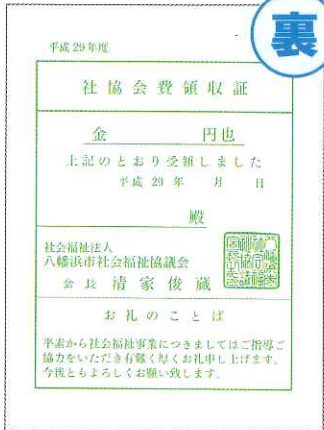
社協では、「こんな八幡浜市に住みたい」「困っていることがある」「集う場所が欲しい」「こんな福祉サービスがあれば」等、市民の皆様様々な声のもとに、『すこやかな心ふれあいまちづくり』に取り組むため、住民や関係機関の皆さまにご参画いただき、地域福祉活動の推進に努めています。市民誰もが住み慣れた八幡浜で暮らしていけるように、福祉の視点で地域に関わっています。

## \* 社協会費とは \*

社協は、市民の皆さまが会員となつて、地域の福祉を高めていく活動に参加していただくことを目的とした団体です。全国に市区町村社協は1846ヶ所あります。社協会費は、昭和47年より始ま

りました。赤い羽根共同募金と並び、長年、八幡浜市の地域福祉を支えるための貴重な財源として役立てられています。

7月より、市民の皆さまにご協力をお願いさせていただきます。社会福祉協議会の取り組みにご賛同いただき、地域福祉活動にご協力くださいますよう、よろしくお願ひします。



社協会費を納入いただいた方にお渡ししています

## 平成 28 年度 社協会費納入実績(地区社協別)

地区名	納入額(円)	地区名	納入額(円)	地区名	納入額(円)
江戸岡	503,450	舌 田	123,400	喜須来	562,000
松 蔭	626,200	川 上	226,000	川之石	672,000
白 浜	738,300	真 穴	305,800	宮 内	744,000
千 丈	532,900	双 岩	287,000	磯 津	132,000
神 山	833,525	日 土	371,000		
合 計			6,657,575円		

■ 一般会費 500円  
各世帯にご協力いただいています。

■ 特別会費 1,000円  
各世帯、個人、団体、企業の皆さまにご協力いただいています。

## 講座のご案内

住み慣れた場所で元気に暮らし続けるために地域のチカラになつてくださる方募集!

### アクティブ ボランティア 養成講座

対象 2〜3回程度の講座が受講できる活動団体(20人程度)で、八幡浜市在住の方

#### 対象例

老人会、趣味のサークル・教室、婦人会等ボランティア活動団体

#### 日時

応相談

#### 場所

地域の集いの場や地区公民館・集会所等

#### 受講料

無料

#### 内容

応相談

#### 内容例

・無理なく楽しく学ぼう「介護の基礎」  
・その人の人生を知ろう「認知症の理解」

#### お問合せ・申込先

八幡浜市社会福祉協議会 地域福祉課  
TEL 0894・23・2940

